

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9. 10 月 27. 27 日 (17 : 30～19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 全職員 (12 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		8	4		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	2		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	7	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8	4		12

できている点

- ①ライフサポートプラン、アセスメント表、サマリー等で本人、家族の情報は回覧している。
- ②どの様に利用したいかは本人、家族から聞き取り、思いを知りニーズに沿う支援を行っている。
- ③初めての環境となるので和やかで家庭的な環境作り、心を開けてもらえる様に積極的に関わっている。
- ④連絡帳や送迎の際に聞きとりした細かな記録を残し、不安を取り除く為に思いや価値観を理解していく事を大事にしている。利用者家族から気軽に相談して頂けるように窓口を開いている。

できていない点

- ・利用開始時の情報回覧の共有はしているが、全職員集まっでの初期支援時のミーティングは行えていない。また、事前にチーム会議も行えていない。できていない理由として、職員は日々の業務に追われ、変則勤務ということもあり、全員が集まることがなかなか出来ない現状がある。また、利用開始が緊急の場合は、相談の翌日から利用開始ということがあるため、事前にミーティングが出来ない。

次回までの具体的な改善計画

- ・利用開始前のミーティングができる時間を確保する。
- ・利用者対応の業務が最優先となるように努力する。
- ・可能な限り人員を確保し、利用者・家族に寄り添い安心して頂けるような支援をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9.10 月 27.2 日 (17 : 30～19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 全職員 (12 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	6	4	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	4	2	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	4	2	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	5	4		12

できている点

①ライフサポートプランから本人の目標を意識してチーム会議でも長期、短期の目標に添って話し合っている。
②本人の言動や行動、家族の方からの聞き取りを重視しながら対応している。
③常に目標に沿った支援、関わり、目標の実現に向けた声掛けを行っている。
④グループミーティング、職員全体会議にて振り返り、改善策等を検討し次へと活かしている。

できていない点

・本人が「～したい」部分について一人一人じっくりと時間をかけて観察し、変化等に柔軟に対応できていない時がある。できていない理由として、現状の職員体制では、送迎、入浴、排せつ、調理等の業務に追われ、一人一人に関わる時間と余裕がない時がある。職員一人で複数の利用者を見守っている現状では、その場の安全を確保することが最優先となっている時がある。

次回までの具体的な改善計画

・ゆとりをもって利用者に関われるように、人的な配慮をする。
・全ての職員が、情報収集・課題分析・報告、連絡、相談がしっかりと行えるようにする。
・家族、本人を交えてのサービス担当者会議を定期的に行い、情報の共有をしっかりと行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9. 10 月 27. 27 日 (17 : 30～19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 全職員 (12 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	1	7	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	8			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	4	4	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	6	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	7	1		12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ①アセスメント表、サービス担当者会議、送迎時や家族からの連絡帳の様子等で把握できている。 ②好みの食事、その日の体調等にもよるが入浴携帯等、なるべく希望に沿って提供している。 ③行動や表情、声のトーンで何を訴えておられるか察知して臨機応変に対応している。 ④本人の状況や気持ち、体調の変化に気付いた場合は記録に残し勤務職員間で随時話し合いを行った上で対応を変えている。 ⑤看護師等から専門的な指示を受け対応している。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方を10個以上把握できていない。 ・本人の声にならない声、不安や怒り等の感情まで言語化できていない場合がある。 <p>できていない理由として、以前の暮らしの情報は家族からの聞き取りと本人の回想によるところが大きい。家族関係が希薄な利用者の場合は情報収集が難しい。声にならない声を言語化することは職員の受け取り方、感性によることも影響しており、受け取り方で意見が食い違うことがある。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との信頼関係を深め、利用者の情報を収集、共有して日々の支援に生かす。 ・本人の声にならない声に職員が気付けるように、深い洞察力と感性を磨く。職員は話し合い、意見を交換し、研修などに参加して自己研磨に努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9.10 月 27.27 日 (17:30~19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 全職員 (12 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	7		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	2	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	8		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	6	3	12

できている点

- ① 利用者・家族とのコミュニケーションを通して、昔話等することにより情報を得ている。
- ② 地域の行事 (運動会・秋祭り) に参加している。又事業所行事 (夏祭り) に地域・家族が参加している。
- ③ 送迎時、家族から自宅の様子を聞き取り、連絡帳でのやり取りで把握している。
- ④ 行事 (夏祭り等) の時は、民生委員やふれあい委員、ボランティアの方にお世話になっている。

できていない点

- ・生活支援サービスやサロン等を使っていない。
- ・ふれあい委員や民生委員からの協力はあるが、普段、地域の皆様と直接的に関わることは少なく、出会った時の挨拶程度である。積極的に事業所から地域に働きかけることが出来ておらず、地域の資源を把握できていない部分がある。

次回までの具体的な改善計画

- ・地域の資源を把握する。(生活支援サービス・サロン)
- ・地域に何をどう働きかけるか等、職員間で検討する。
- ・地域や家族、利用者との関わりを深めるため、職員は上記のことを常に意識して、利用者支援に取り組む努力をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9. 10 月 27. 27 日 (17 : 30～19 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 全職員 (12 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		9	3		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	4	2		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	6			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7	1		12

できている点

① 配食サービスを利用すると共に安否確認をして頂いている。近所の方と連携し、変化が確認された時は事業所に連絡して頂くようにしている。
② 希望に合わせた柔軟な支援をしている。
③ 日々の変化を記録に残している。毎月の全体会議で情報共有し今後の課題や対応を話し合っている。
④ 本人の様子を観察し、声掛けして状態しっかりと観て臨機応変に対応する支援をしている。

できていない点

・利用者の個別のニーズに応じた十分な支援が出来ていない時がある。理由として、職員不足により、日常の業務に追われ、個別に関わる余裕がない時があるため。

次回までの具体的な改善計画

・早急に職員の補充をする。
・地域の方に働きかけ、ボランティアなどの協力依頼をする。
上記の事により、安心安全に利用者が生活できる様、柔軟な対応ができる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9.10 月 27.27 日 (17:30~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 全職員 (12 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3	3		5	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	2		6	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	4	7	1		12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	7		1	12

できている点	
①	サービス担当者会議を開催し情報を共有している。また紙面上での情報共有・電話などで連携し、連絡調整している。
②	自治体の会議は参加していないが、包括支援センター、市役所との会議や電話連絡、訪問などで、情報共有している。
③	町内の運動会・秋祭りに参加している。消防署の協力で年 2 回避難訓練を行っている。
④	地域の子供や近所の利用者の知り合いの方々は自由に来られ、傾聴ボランティア、アロママッサージのボランティアの方々は定期的に来られている。

できていない点	
	・自治会、婦人会、消防団については参加したことがなく把握できていない。

次回までの具体的な改善計画	
	自治会、消防団などについて理解を深め、お互いに協力し合える関係を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9.10 月 27.27 日 (17 : 30~19 : 30)

7. 運営

メンバー 全職員 (12 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	6	4	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	8			12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	2		12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	6	1	1	12

できている点	<p>①月に2回、職員会議を開催、全体について話し合い、効率よく業務を行うために職員同士で意見交換、提案等の発言が行えている。また、日常的に思ったことはその都度意見できている。</p> <p>②利用者、家族から意見や苦情があった場合は、上長に報告し、丁寧にかつ迅速に対応、改善策を職員に伝達、申し送り実践する事で反映している。</p> <p>③地域からの苦情は速やかに関係機関に連絡し、改善策に努めている。また、運営推進会議の中で報告し、情報を共有している。</p> <p>④毎年、夏祭りを開催している。また、地域の秋祭りや運動会に参加して、地域住民と交流している。</p>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に必要とされる拠点としては、認識不足もあり、限られた事しかできていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にとって必要なことは何か、事業所で何ができるのか考え、実践していく。 ・事業所をより良くしようとする向上心を持ち、意欲的に地域との関わりをもつようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9.10 月 27.27 日 (17:30~19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 全職員 (12 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	10		1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	8	2	1	12
③	地域連絡会に参加していますか		6	1	5	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	1	1	12

できている点

①職員全員に研修の機会がある。感染症、記録等の外部研修に参加し、伝達講習をしている。法人内の居宅介護部が行う研修は事業所職員を対象としており、ほぼ全員が参加出来ている。
 ②各自が自発的に研修に参加し、スキルアップや資格取得し自己研磨している。
 ③南丹地域の小規模部会は月 1 回、必ず 1~2 名参加し、ケアマネ連絡会も参加できている。
 ④事故防止に繋げるため、ひやりはっと、事故報告書等から統計をとり、改善策に取り組んでいる。

できていない点

- ・職員不足により、研修に参加できない時がある。
- ・リスクマネジメントにおける取り組みは、職員により意識の差がある。例えば、あることを大変と感じ反省する職員と何も感じずその場をやり過ごす職員がいる。

次回までの具体的な改善計画

- ・現場の人員不足を解消し、できるだけ希望に沿った研修に参加できるようにする。
- ・リスクマネジメントに対する職員教育を行う。危機意識、ひやりはっとの意識を高く持てるように、職員間で声掛けをし、危機的意識を共有して、事故を未然に防ぐ努力をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9.10 月 27.27 日 (17:30~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 全職員 (12 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12				12
②	虐待は行われていない	12				12
③	プライバシーが守られている	6	4	2		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	2	4	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	2	2		12

できている点	
①夜間以外玄関は施錠をせず、ベッド柵での囲いもしていない。身体的拘束も行っていない。 ②言葉、身体面において虐待は行っていない。 ③排泄時、入浴時はプライバシーに配慮した声かけや対応することを特に心掛けている。 ④現在、権利擁護利用にむけて調整中。成年後見制度に関しては管理者が対応している。# ⑤個人情報は鍵のかかるロッカーに厳重に保管されて一か所にまとめられている。守秘義務を徹底している。	

できていない点	
・プライバシーに配慮した声かけや対応ができていない時もある。(トイレの声掛けなど、回りの人に配慮出来ていない時がある。) ・成年後見制度を理解できてない職員がいる。(未回答2名)	

次回までの具体的な改善計画	
・難聴の方に対しては、周囲の状況を観てプライバシーに配慮する声掛けを行う。 ・成年後見制度、権利擁護についての勉強会を行い、全員が理解を深める。	

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	8		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	8		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		5

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- ※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見
- ・それぞれ、職員の思いを含んで評価されている。それなりに出来ている。
 - ・自己評価自体にばらつきがあり、気になった。

【前回の改善計画に対して意見】

- ※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

- ※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見
- ・具体的な改善計画が具体的な方法で記されていない。当たり前のことが記載されている。（当たり前のことが出来ていない職員もいるので、意識のレベルの違いがある）

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・自己評価の中で出来ている点、出来ていない点を自己評価しているが、自己評価自体にばらつきがあるのが気になった。

【改善計画】※後日記入

毎日の朝礼、1ヶ月に1度のグループミーティング、常勤会議、職員全体会議の時に方向性を確認し、意識を統一する。また、職員一人一人が年に1度は必ず研修に参加し、意識を高める努力をする。職員全体会議の出席率を80%以上にする。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	8		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・段差もなく、施設として良いのではないか。
- ・事業所に入りやすい工夫とはどういう意味か。周りが住宅地で、平屋で普通の民家と見分けがつかない。だんないの屋根の上を利用して看板など立てたらどうか。立て看板費用や許可がいる。もう少しわかりやすく、目立ちやすくする。他事業所は電柱を利用している。府道になると市役所などからの許可が必要である。

【前回の改善計画】

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・かなりオープンにできている。ただ、まだまだこの地域は若い方の住まいが多く十分に理解できていない。
- ・だんない前のゴミ捨て場について、ゴミが溢れたりしていないか。
- ・地域の子供たちの出入りがある。

【今回の改善計画】※後日記入

高評価を維持するため、職員全員が日々の清掃、整理整頓を行う。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	職員はあいさつできていますか？	7		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5	1	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3		5
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・あいさつは出来ている。好感が持てる。
- ・内林地区で相談はまずないと思われる。

【前回の改善計画】

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・民生委員サイドで出来ている部分がある。だんないにお願いしてということはない。ただ、遠くに行くよりも近くが良いので、近々地域の方と見学に訪れたい。それが結びつくかどうかはわからない。早く、元気なうちに接点を持ち、事業所と関わりを作る必要がある。
- ・民生委員で地域を回っていても、家族のことを知らせたくないという思いがある為、難しい。
- ・内覧会や見学会、夏祭りでも室内を自由に見て頂く必要がある。

【改善計画】※後日記入

今後も地域の行事などに積極的に出向き、情報を収集していく。内覧会、消防訓練、行事、イベントを計画して、地域と交流を図り、これからも地域に根づいた施設を目指す。認知症相談窓口のチラシを回覧する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	7		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2	2	4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	1	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3		5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・閉じ込めず、利用者が尊重されている。地域の方を交えた会議は運営推進会議だけである。
- ・なんとか出来ている。良く出来ているに評価している職員が多数いる。矛盾している。
- ・地域のイベントは町民運動会と秋祭りに参加している。

【前回の改善計画】

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・災害時の訓練を実施したが、地域の方にも参加をお願いしたい。まずは、場所を知ってもらうのが前提の話である。自分達のは自分達で守ることが最優先となる部分がある。
- ・地域の防災訓練はないので、参加していない。
- ・家族の意見は大切であるが、利用者の住んでいる地域となると広範囲の為、それぞれの地域の困りごと等を会議で話し合うのは難しい。
- ・地域密着型なので、理想は内林、園部近辺が望ましい。
- ・広範囲であろうと地域に変わらないので拘る必要はないと思う。

【改善計画】※後日記入

ご利用者の周辺地域の高齢者の実情について、把握が出来ていないので、利用者本人が住んでいる地域の民生委員と連携する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7		1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？		4	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6	2	
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事例検討は行えていない。
- ・地域で心配事の人は今のところはない。

【前回の改善計画】

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・地域は地域、だんないはだんないで動いているが、ここに携わって運営推進会議で話し合いが出来ている。それで良いのではないか。今までが出来ていなかっただけ。
- ・内林地区だけに限らず、近辺の地区の民生委員も交えて会議が行えればさらに良いと思う。

【改善計画】※後日記入

引き続き運営推進会議では施設の取組み、課題を伝え、問題提起を行う。そうする事で地域の方と共に考え、向上する機会とする。出た意見を職員間で協議し改善に努めていく。地域の課題や取組みに対しても施設としてどう関わっていけるか共に考える。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	4	
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	5	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	7	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3	1	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所の防災計画は伝えられていない。
- ・事業所の防災訓練には参加したことがないが、ヘルメットや車椅子も地域の倉庫にある。（そこまで取りに行けないと思われる）
- ・避難場所として事業所を使って頂いたら良い。回覧板で事業所の訓練を呼び掛けても参加は見込めない。
- ・災害はいつ起こるかわからないので、地域との連携、信頼関係を作るのが良い。防災計画の中で連絡網等を進める必要がある。

【前回の改善計画】

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・連絡をもらって駆けつけられる人が何人いるのか以前話が出ていたが、それ以降進んでいない。話が出ても振り返りと改善策が出来ていない。
- ・形だけでも区長に電話するというを決めておいたらどうか。
- ・区長に連絡する連絡網はあるのか。火災なら、延焼等があるので、連絡する必要がある。助けを求める際にも要請する必要がある。
- ・利用者を外に連れ出す手助け、具体的な手順があれば、よりわかりやすい。
- ・区長が1年おきが変わるので話が進んでいかない。災害は待って欲しくない。
- ・組にだんないは入っているのか。回覧板は回ってこないのか。
- ・組員の方、地域の方に理解してもらう為には、組の会議等、参加する方が信頼や助けてもらうことに繋がるのではないか。
- ・回覧板はないと地域で何をやっているのかわからない。地域とも交わらない。防災は地域ぐるみなのでそこは外せない。
- ・組に入ったとしても出来ることと出来ないことがあるので区別する。その変わり施設の強みとしてイベントなどがあれば場所を提供してはどうか。

【改善計画】※後日記入

事業所の防災訓練の時に AED の使い方、消火器の使い方、救命講習を行い、地域の方にも参加を呼びかけ、訓練と交流の機会を作る。
防災計画を作成する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会	代表者	田中 博	法人・ 事業所 の特徴	すべての住民のところが輝く福祉のまちづくり 支援が必要になった時でも、住み慣れた自宅や地域の中で家族や親しい人たちと共に その人らしい生活が送れるように「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを一つの事業所で 一括提供し、自宅での生活を支えるサービスを行っている。
事業所名	小規模多機能ホーム だんない	管理者	太田 えり子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	1人	1人	2人	2人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	出来ていないことや出来ていることが客観的にわかって良かった。利用者一人ひとりを尊重した支援がなされている。出来ていないことに向けて来年度取り組まれることを期待する。	毎日の朝礼、1ヶ月に1度のグループミーティング、常勤会議、職員全体会議の時に方向性を確認し、意識を統一する。また、職員一人一人が年に1度は必ず研修に参加し、意識を高める努力をする。職員全体会議の出席率を80%以上にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	掃除は行き届き、誰でも気軽に入りやすく明るい雰囲気である。ただ、事業所は集合住宅の中に位置しており、わかりにくい。看板を設置してはどうか。	高評価を維持するため、職員全員が日々の清掃、整理整頓を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	事業所、地域の行事、イベントにお互いに参加出来ている。相談窓口としての認知度は低いので、見学会等を開いてはどうか。	今後も地域の行事などに積極的に出向き、情報を収集していく。内覧会、消防訓練、行事、イベントを計画して、地域と交流を図り、これからも地域に根づいた施設を目指す。認知症相談窓口のチラシを回覧する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	利用者は広範囲に渡る地域に在住されており、その近隣の状況を個別に把握することは難しい。事業所周辺については、買い物、散歩に出かけた時に挨拶を交わすなど交流出来ている。	ご利用者の周辺地域の高齢者の実情について、把握が出来ていないので、利用者本人が住んでいる地域の民生委員と連携する
E. 運営推進会議を活かした取組み	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	運営推進会議等、地域の方を交えた会議を行っているが、更に拡充を期待する。	引き続き運営推進会議では施設の取り組み、課題を伝え、問題提起を行う。そうする事で地域の方と共に考え、向上する機会とする。出た意見を職員間で協議し改善に努めていく。地域の課題や取り組みに対しても施設としてどう関わっていけるか共に考える。
F. 事業所の防災・災害対策	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	今年度が初回になりますので、次年度以降になります。	事業所の防災訓練の時にAEDの使い方、消火器の使い方、救命講習を行い、地域の方にも参加を呼びかけ、訓練と交流の機会を作る。防災計画を作成する。